ユーザー様および販売店/取り付け業者様向け補足資料

Ver.3

この度は、当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。 安全にご使用していただくため、必ずご一読願います。

ユーザー様

スマホとの接続

本製品は、スマホと連携することで様々な機能を使用することができます。下記の「スマホ使用項目 早見表」を参考に取扱説明書をご確認ください。

スマホ使用項目 早見表

項目		スマホ(機種別)	
		iPhone	Androidスマホ
● 本機をインターネットに接続する 本機「Playストア」アプリよりアプリをインストールして、YouTubeやお好みの地図 アプリなどをで使用できます。		35ページ	36ページ
● Bluetoothの接続方法 ハンズフリー通話やデバイス内の音楽再生などができます。		37ページ	38ページ
● iPhoneのCarPlayを起動させたい	無線接続 ※	44ページ	_
● iPhoneの画面を本機へミラーリング表示させたい	無線接続 ※	46ページ	_
● Android Autoを起動させたい	無線接続	_	48ページ
	有線接続	_	50ページ
● Androidスマホの画面を本機へミラーリング表示させたい ※スマホ側に「zPlus」アプリのインストールが必要です。	無線接続	_	51ページ
	有線接続	_	53ページ

[※] 有線接続は対応しておりません。

CarPlay、Android Autoご使用時のカースピーカー音量は、本機側の音量ボタンにて調節してください。

LINE通話について

Android AutoはLINEアプリに正式対応していないため、Android Auto上でご使用した際は、正常に動作しない場合がございます。

USB端子用コードについて

・USB端子用コードを配線する際は、グローブボックスや内張りと の噛み込みがないようにご注意ください。コード内の断線や内部 ショートの原因となります。

また、本機と接続後はUSB端子用コードのUSB端子口を車内空間 (センターコンソールやグローボックス内など)に必ず出してください。

製品仕様として、本機のUSB端子は主にスマホやUSB接続デバイスとのデータ通信をメインに使用する設計となっております。コードは2本ございますが、機能は同一仕様です。

また、急速充電機能は備えておりません。本機とスマホをUSBケーブル接続しスマホ画面を本機へ連携させている状態で、スマホ側の消費電力が充電スピードを超えている状態では、スマホ画面に充電マークが表示されていても充電が進まない場合がございます。

また、本機とスマホをUSBケーブル接続しても、全てのスマホが充電される仕様ではありません。スマホ側の仕様(充電時に必要な電力、バッテリー状態、バッテリー充電設定など)により、USBケーブル接続してもスマホ画面に充電マークが表示されず充電が実施されない機種もございます。充電に最低でも必要な電力(ワット数)は、スマホの機種により異なります。スマホの仕様は、スマホの取扱説明書をお調べいただくかメーカーにお問い合わせ願います。

ハンズフリー通話について

本機は内蔵マイクを搭載しております。より良い感度をお求めの際は、 別途オプションの外部マイクをご購入ください。

品番: OP-SLO1aM

工場リセット

本機では工場リセットを推奨しておりません。端末内のアプリやデータなどを出荷時に戻す場合は、適宜当該のデータの削除やアンインストールを実行してください。

本機が動作停止、フリーズした場合は、緊急リセットホールより再起動 を行ってください。

その他注意事項

- ・ 運転中に本製品を操作したり、液晶画面を見ながらの運転はおやめください。 運転中の画面注視は違法行為となります。
- ・ 本機の特性上、一部アプリにおいては正常に使用できない場合が あります。
- アプリの特性上、アップデートなどにより名称やアイコンが本書と 異なる場合があります。
- 製品仕様の詳細および不明点については、同梱の取扱説明書ならびに製品サイト、使い方説明動画を参考にご覧いただきますようお願いします。

販売店/取り付け業者様

時計がずれている

本機GPSアンテナまたは本機とスマホの連携時にネットワークより 自動補正されます。

「設定」>「システム」>「日時と時刻」>「日時を自動的に設定」から 「ネットワークから提供された時刻を使用する」が選択されており、 「タイムゾーンを自動的に設定」がONの状態をご確認ください。

各種コード

コネクタ部は渋いため、接続時にカチッとロック音が鳴らない場合 があります。コードが抜けないことを確認の上、確実に接続してくだ さい。

USB端子用コード

本機と接続後、USB端子用コードを車内空間(センターコンソール、 グローボックス内 など)に必ず出してください。 コードは2本ございますが、機能は同一仕様です。

バックカメラコード及び各種アンテナ

- ・バックカメラコード及び各種アンテナには、Bluetoothアンテナ およびWi-Fiアンテナなどが実装されておりますので、バックカメ ラ非搭載車であっても必ず接続してください。 バックカメラ非搭載車は、「電源及びスピーカーコード」内のバッ ク信号(リバース)の配線は不要です。
- 出荷時設定は、バックカメラ映像内にガイド線は表示されません。 ガイド線を表示させるには、バックカメラ映像表示画面の右下「設 定マーク」ボタンをタップし、「パークラインを表示」を「ON」にし てください。

GPSアンテナ端子用コード

GPSアンテナは、ダッシュボードなど遮蔽物のない位置に設置して ください。

取り付けに関して

- ・取り付けする前に、必ず車両バッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・ディスプレイを外してから取り付けを行ってください。
- ・電源投入後は、動作安定のためはじめにRST (リセット) ボタンを押して再起動を行ってください。
- ・取り付けの際は、適宜取付キットやサイドパネル、同梱のスポンジスペーサーなどをご使用ください。
- ・バックカメラの接続は、RCA端子(黄色)となります。
- ・ ステアリングスイッチの設定について:
- 車両純正のオーディオ裏カプラー(例:トヨタは20P)などから、ステアリングキー (SW1、SW2、SW GND / KEY1、KEY2、KEY GNDの表記) を確認して本機と接続してください。接続後、本機設定内の「ステアリングスイッチの設定」より機能を割り当ててください。
- ・ワイドパネル車への装着は、必要に応じて同梱のスポンジスペーサーやサイドパネル(社外品)などをご使用ください。
- ・社外品のサイドパネルが干渉する場合は、サイドパネルの一部を加工いただくか、同梱のスポンジスペーサーを使用して装着してください。

ステアリングスイッチについて

- ・ステアリングスイッチの割り当て設定は「学習型」のため、ステアリングスイッチの物理ボタンの表示に関係なくお好みの動作を設定できます (本機には車両メーカーのプリセット設定はございません)。詳細は、取扱説明書のP.17以降をご確認ください。
- 車両側カプラーにKEY2またはSW2がない場合は、本機側のKEY2を絶縁テープで保護してください。
- ・取り付けの際は、純正の変換コードやサードパーティー製のハーネスなどが必要な場合があります。
- ・割り当ての際は、イグニッションをONの状態で行ってください。設定ズレや動作不良などの原因となります。
- ・アナログ信号入力タイプの純正ステアリングリモコン装着車に対応しております。赤外線タイプには対応しておりません。
- ・CAN方式などを使用している一部車種には適用できません。
- ・メーカーオプションナビ装着車の場合は使用できません。詳しくはカーディーラーにご確認ください。
- ・仕様やグレード、車両の登録年月によっては正常に動作しない場合がございます。

スマホとの連携について

- 本機の「ZLINK5」アプリを使用することで、iPhoneの「Apple CarPlay」機能や Androidスマホの「Android Auto」機能を起動させ本機画面にてご使用すること ができます。また、各スマホの画面ミラーリングにも対応しています。
- · iPhoneは有線接続でのApple CarPlayの起動およびスマホ画面のミラーリング 表示に対応していません。
- · CarPlayとAndroid Autoの操作方法は、各公式サイトよりご確認ください。

【 公式サイト 】 iOS CarPlay/ Apple



【公式サイト】 Android Auto/ Android



その他注意事項

製品の特性上、プリインストールされているアプリの更新や内部システムの機能向上、またシステム改修のための更新手順などはメーカーホームペー ジにて公開しています。必要に応じてご確認をいただき、最新版へ更新してください。メーカーおよび販売店での対応は行っておりません。あらか じめご了承ください。

アフターサービスについて

類青木製作所 ❷Meχ

https://www.aokiss.co.jp/ 〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2917-1 メールでのお問い合わせ info@aokiss.co.jp

電話でのお問い合わせ 027-320-2677(メーカーサポート)

ディスプレイの可動域について

取り付けについて

下記の場合は、取り付けることができません。

識別・操作の妨げとなる場合

ハンドル、各種レバー(シフトレバー、ワイパーレバー、ウインカーレバー など)、エアバッグ、ハザードスイッチ、各種スイッチ(A/Cスイッチ、AUTOスイッチ など)、 各種メーター(オドメーター、セレクターポジション など)、各種表示灯・警告灯(充電警告灯、ブレーキ警告灯 など)

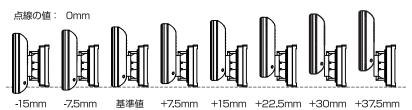
干渉する場合

車両装備(スイッチ、パネル など)

車両によって製品を取り付けることにより、グローブボックスやカップホルダーなどが使用できなくなったり、エアコンの送風口が隠れる場合があります。

可動域について

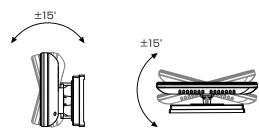
●上下位置の可動域



※モニターを上部に位置するほど、モニターとシャーシを固定する嵌合箇所が少なくなります。 走行中の振動によるモニターのブレが気になる場合は、上下の固定位置を調節してください。

●上下角度の可動域

●左右角度の可動域





ご注意

ディスプレイと本体を固定していない状態で、ディスプレイの角度調整を行わないでください。故障の原因となります。

ディスプレイの原寸図

ディスプレイ原寸図について

右図の「ディスプレイ原寸図」は、スマホランチャー「AMEX-SLO3」のディスプレイの原寸図になります。 「ディスプレイ原寸図」を使い、装着時のサイズ感や装着位置などをご確認ください。 ディスプレイサイズ:W238mm × H143mm × D32mm

取り付けができない条件について

以下の条件に1つでも該当すると、製品の取り付けができません。

- ・ハンドル操作およびシフトレバーやウインカーレバーなど各種レバー操作の妨げになる場合
- エアバック動作の妨げになる場合
- ・ハザードスイッチおよび各種スイッチの識別や操作の妨げになる場合
- ・各種メーター類および警告灯などの確認の妨げになる場合
- ・スイッチやパネルなど車両装備に干渉する場合

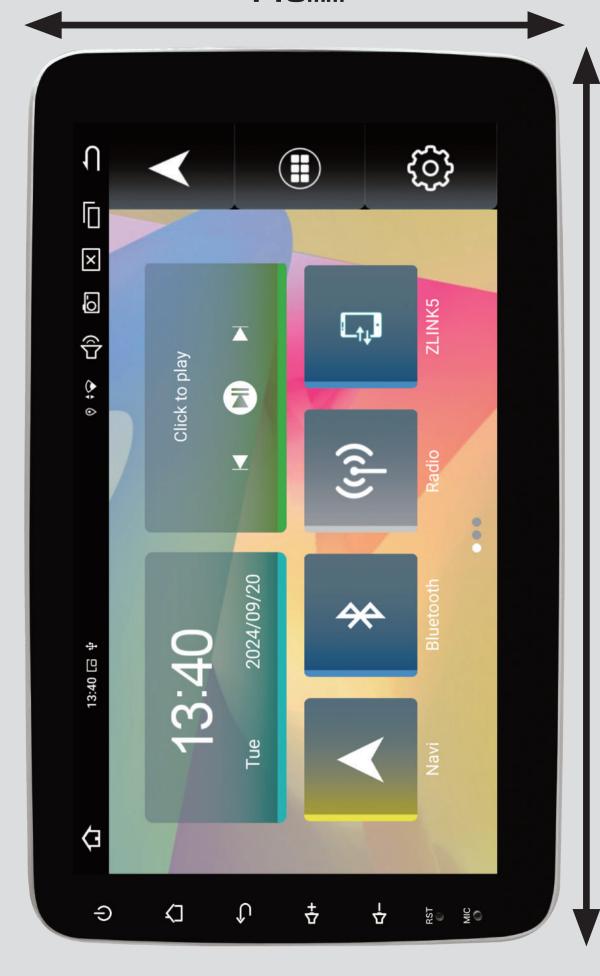
ご注意

印刷してご使用する場合:

右図の「ディスプレイ原寸図」を印刷してご使用する場合は、印刷後に下記のメモリに定規をあて拡大や縮小されずに印刷されていることを確認してください。メモリが拡大や縮小されたまま印刷すると、正しい取り付けができません。







スマホランチャー[AMEX-SLO3] / ディスプレイ原寸図